

NPO法人 故郷の海を愛する会

2017年度 事業報告

事業名 **海から始まる物語 IN 2017**



目次

1 NPO法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織	2
2 事業名「海から始まる物語 IN 2017」	
活動計画	3
活動報告	
参加者募集と参加者	4
活動その① 海の博物館見学と海の話	5
活動その② JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海	8
活動その③ 四日市港の見学と火力発電所の見学	12
活動その④ もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話	15
アンケートの集計	18
配布資料	22
募集ポスター、広報紙・新聞等、インターネットで募集記事、活動紹介記事など	23
3 その他の活動	27
4 活動準備など	29
5 収支報告	30
6 2018年度の活動計画	31
7 主催者の感想と反省など	32

1. NPO法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織

目的 定款で以下のように定めています。

第3条 この法人は、主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もってこどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

事業 定款で以下のように定めています。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、安全、安心を確保のうえ、次の事業を行う。

特定非営利活動に係る事業

- ① 故郷の海を愛する心を育てる事業
- ② 海や船に親しむ活動の推進事業
- ③ 世界に繋がる海で活躍し世界に雄飛する気持ちを醸成する事業
- ④ 郷土の誇る明治の教育家「近藤真琴翁」の偉業を多くの人に知ってもらう事業
- ⑤ その他第3条の目的を達成するために必要な事業

その他、定款を含む団体情報は、カンパンプログを参照ください。

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442#basicinfo>

組織 役員名簿

役職名称	氏名	常勤/非常勤	職業	報酬の有無
理事(会長)	川口 心也	非常勤	無職	無
理事(副会長)	三井 建次	非常勤	無職	無
理事(副会長)	江崎 隆夫	非常勤	会社社長	無
理事(会計)	畑 辰幸	非常勤	水先案内人	無
理事	古川 昭一	非常勤	無職	無
理事	水野 逸夫	非常勤	学校教員	無
理事	永井 功	非常勤	無職	無
理事	溝井 昇	非常勤	団体職員	無
理事	山口 伸輔	非常勤	会社社長	無
理事	西山 明	非常勤	無職	無
監事	武部 二三男	非常勤	無職	無

(会員数)

2018年1月時点での正会員数は個人95名と3団体。賛助会員数は15名となっています。

2. 事業名「海から始まる物語 IN 2017」

活動計画

事業目的 主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し、『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もって子供たちの健全な育成に寄与することを目的とする。

事業目標 地域の小中学生が活動を通して世界につながる船や海を体験し、海と人との共生をめざし、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する知識・気持ちを持つようになる。

事業計画 年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・三重県教育委員会・近隣市町教育委員会（鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・津市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町）等の後援を得て参加者募集を行う。

国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」等学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会の後援を得て事業を実施する。日本海事センター、全日本海員組合、日本中小型造船工業会からの助成を得て事業を実施する。

（今年度に入ってから日本船主協会、山縣記念財団の助成が頂けることとなりました。）

当初計画は以下の通り。

活動その① 海の博物館見学と海の話

バスで海の博物館に移動、海の博物館を見学、海の話等を聞く。海辺で磯遊びなどの体験もする。

募集人員60名+ボランティア(活動に際しての協力:海の博物館) 場所:鳥羽市 海の博物館 時期:7月初旬

活動その② JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

バスで津市に移動、JMU造船所でLNG船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。午後は造船所で鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。船上では船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク、等を体験する。

募集人員60名+ボランティア(活動に際しての協力:鳥羽商船高専並びにJMU) 場所:津市及び伊勢湾 時期:7月下旬

活動その③ 四日市港の見学と火力発電所の見学

バスで四日市に移動、四日市港を見学、川越火力発電所の電力館テラ46でLNG船が運んできたLNGを焚いて発電する様子を学ぶ。

募集人員90名+ボランティア(活動に際しての協力:四日市港管理組合・電力館テラ46) 場所:鳥羽～四日市 時期:8月下旬

活動その④ もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、操船シミュレータで模擬操船体験や大型機関の発停を体験。他にコンピュータ・ロボットなどの講演を聞き、ロボットやアプリの体験をする。

募集人員50名+ボランティア(活動に際しての協力:鳥羽商船高専) 場所:鳥羽市 鳥羽商船高専校内 時期:12月下旬

募集

募集対象を主に三重県の中南勢地区の小学5,6年生と中学1,2年生とする。

対象学校毎にポスターを、対象の子供達にリーフレットを用意する。

各市町の広報紙に募集広告を掲載依頼。中部運輸局にプレスリリースの協力依頼。

参加費

活動その①②③については¥1000、その④は無料とする。

活動報告

参加者募集 三重県と三重県の中南勢地区の各市町の教育委員会の後援を得て、5月末に、活動その①②③について、当該地区の小中学校に募集のポスターの掲示を、対象の子供達にリーフレットの配布をお願いしました。又、各市町の広報紙に募集記事を掲載して頂きました。加えて、中部運輸局にも後援をお願いし、活動紹介と募集協力をお願いしました。故郷の海を愛する会のブログでも参加者募集し、日本船主協会のHPにも募集ポスターをアップして頂きました。他にも会員がポスター配布、ビラ配りをして参加者の募集を行いました。

募集のポスターに関してはA2サイズで500枚印刷しました。

リーフレットはA4サイズで26000枚印刷しました。対象地区の小中学校数は合計で208校あり、以下の通りです。対象児童数は23,661名で昨年に比べ566名減少しました。

2017年	中学校			小学校			合計	対前年増減
	校数	クラス	1・2年生徒	校数	クラス	5・6年生徒		
津市	21	152	4,447	49	187	4,705	9,152	-201
松阪市	11	91	2,688	36	135	2,848	5,536	-98
伊勢市	11	71	2,189	23	83	2,156	4,345	-83
志摩市	7	28	788	11	30	653	1,441	-95
鳥羽市	5	14	275	8	24	299	574	-36
明和町	1	12	409	6	18	411	820	-46
玉城町	1	10	340	4	13	305	645	3
多気町	2	12	337	5	14	296	633	25
度会町	1	5	155	1	4	128	283	-12
南伊勢町	2	5	116	3	6	116	232	-23
合計	62	400	11,744	146	514	11,917	23,661	-566

活動その①②③について、募集を開始早々に多くの応募を頂き、嬉しい悲鳴でした。申し訳なかったのですが多くの方々にお断りもしました。

活動その④について、今年の活動に多くの方々に応募して頂きましたが、参加できなかった方々に招待状を送りました。加えて、今年・昨年の活動に参加した子供達に招待状を配布し参加者の募集を行いました。

参加者 「海から始まる物語 IN 2017」の4件の活動の延参加者は以下の通りです。

2017年	津市		松阪市		伊勢市		志摩市		鳥羽市		明和町		玉城町		多気町		度会町		南伊勢町		その他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
年間集計	0	1	2	11	5	9	5	1	4	1	2	1	0	1	5	1	0	1	1	4	6	2	30	33	
小学4年以下	0	1	2	11	5	9	5	1	4	1	2	1	0	1	5	1	0	1	1	4	6	2	30	33	
小学5年	5	3	9	4	20	17	10	0	1	4	0	1	0	1	0	0	2	0	7	0	1	0	55	30	
小学6年	6	0	16	17	21	4	1	1	14	2	3	1	0	0	0	3	0	1	2	0	4	2	67	31	
中学1年	3	2	1	2	2	4	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	15	9	
中学2年	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
中学3年	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	
それ以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(男女別)	14	6	29	38	48	34	24	2	19	8	5	3	0	2	5	4	2	2	11	4	13	4	170	107	
合計	20	67	82	26	27	8	2	9	4	15	17	277													

個々の活動の参加者数については

活動その①	募集60名	参加者子供65名
活動その②	募集60名	参加者子供61名
活動その③	募集90名	参加者子供82名
活動その④	募集50名	参加者子供69名
合計	募集260名	参加者子供277名(延べ人数)

活動その① 海の博物館見学と海の話 7月8日実施

松阪駅と鳥羽バスセンターで合計54名が集合しバスで移動、四日市海洋少年団・南勢海洋少年団の11名が海の博物館で集合しました。合計65名です。主催者側の大人は21名でした。

天気がよくて最高の活動日となりました。

午前中は海岸で磯の観察とビーチコーミングを海の博物館の学芸員の方々の協力を得て、実施しました。いろんな生き物を自分で捕まえたり、見つけたり、子供たちは楽しんでいました。

午後は海の博物館で海洋ゴミの話や津波の話を聞いたり、海女さんの映像を見たり、館内の見学をしたり、最後にはマグネット作りも体験しました。中部運輸局の方々によるお話もありました。

当日のスケジュールは以下の通りでした。

- 08:00 主催者4名 松阪駅 現地集合 受け入れ準備
- 08:30 松阪組 参加者受付開始
- 08:55 松阪組 集合時刻
- 09:00 主催者鳥羽バスターミナル集合 受け入れ準備 松阪駅 バス出発
- 09:30 鳥羽集合組 参加者受付開始
- 09:55 鳥羽集合組 集合時刻
- 10:00 バス鳥羽バスターミナル 到着・出発 主催者でバスに乗り切れない人は自車で移動
- 10:30 海の博物館近くの海岸への道に到着 現地集合者(海洋少年団など)と合流
そのまま浜に移動。簡単な挨拶・注意の後、海岸で観察会 2班に分かれる。

	磯の観察会	ビーチコーミング
10:40～11:10	A・B・C	D・E・F
11:10～11:40	D・E・F	A・B・C

- 11:40 海の博物館に戻り、足など洗い、要すれば着替え
- 12:00 昼食
- 12:40 集合写真撮影
- 12:50 会長挨拶
- 12:55 海の博物館 学芸員 「海洋ゴミと津波」 40分程度
- 13:35 故郷の海を愛する会 船の話 中部運輸局「海の仕事発見隊」の話 40分程度
- 14:15 映像「鳥羽・志摩の海女」上映と学芸員の展示解説
- 14:30 自由見学
- 15:10 体験活動 マグネット体験 その後、アンケートに記入。
- 15:55 終わりの挨拶
- 16:00 バス 海の博物館 出発
- 16:25 バス 鳥羽バスターミナルに到着 鳥羽集合組 解散
- 17:20 バス 松阪駅到着 解散

活動当日は真夏を思わせるような暑い一日となりました。しかし、参加者全員が元気に楽しく活動を終えることができ、喜んでいました。

海の博物館の方々には大変お世話になりました。有難うございました。

松阪駅、鳥羽バスセンター、海の博物館で集合、海の博物館近くの海岸に移動。



バスを下車。



バケツとたも網が用意されています。



磯の観察 色々な生き物がいました。



ハゼ、フグ、ウミウシ 等..



ビーチコーミング 漂着物を探します。



海の博物館の先生に教えてもらいます。



海の博物館に移動し、中部運輸局の話、海の博物館の話をして頂きました。



その後、「鳥羽・志摩の海女」の映像を見て、海の博物館を自由見学しました。



漁具として使われていた大きなビク。



一人の漁民がつくった潜水艇に乗組みます。



体験学習室でマグネット作り体験。



「カメ」完成!! かわいい。



NPO法人故郷の海を愛する会 海から始まる物語 IN 2017
イベントその① 「海の博物館見学と海の話」
7月8日実施 小中学生65名参加

最後に集合写真です。楽しかったですね。

活動その② JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海 7月27日実施

参加者、小中学生61名、は鳥羽バスセンターとJMU造船所前で集合しました。バス2台に乗り10時から造船所構内で大型船(LNG船)の建造工程をバスの中から見学し、建造ドックではドックゲート上でバスを下り、全員で集合写真を撮りました。その後、造船所の会議室で、造船所の歴史や、何故船が浮くのか?LNGとは何か?などを学びました。鉄の重さも体感しました。

午後は造船所で鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾を体験航海し、鳥羽市に向かいました。乗船後、ライフジャケットの使い方の説明を受け、中部運輸局に「海の仕事発見隊」の話を伺いました。その後、船橋や機関制御室の見学、ロープの結び方体験などを行いました。

今年も船酔いにかかった参加者が何名かいましたが、看護師さんの適切な手当てもあり、鳥羽に近づいたら皆さん元気になり、体験航海を楽しんでいました。

当日のスケジュールは以下の通りです。

- 07:40 鳥羽商船集合組 集合時刻 資材積込、乗合、鳥羽バスセンターに移動。
 08:10 於:三交鳥羽バスセンター 受付け開始 主催者はその前に準備。
 08:30 集合時刻
 08:40 三交鳥羽バスセンターからバス1台 出発 09:00 鳥羽丸 出港
 08:45 鳥羽商船高専で主催者ピックアップ。
 09:20 於:津市JMU造船所前 主催者5名で受付開始。
 09:50 津造船所集合組 集合時刻 バス1台 造船所前で待機。
 10:00 鳥羽からのバス1台JMU到着。 バス2台合流し、造船所内に入構。
 バスに乗車のまま造船所構内見学。 ドックゲート上で下車、見学。集合写真。
 10:50 「くもづホテル&コンファレンス」に移動。
 11:00 造船所の説明を受け、案内VTRを見る。
 船が浮く話やLNG船関連の話をして頂く。 鉄の重さを体感する。
11:30 鳥羽丸 造船所のポンツーンに接舷
 11:50 ホテルで昼食。
 12:40 バスに乗車し、鳥羽丸の接舷場所に移動、乗船。 その後、鳥羽丸出港。
 出港後すぐ、救命設備の説明を受ける。航海の中程で大型船の伊勢湾航行を見る。
 中部国際空港も近くに見える。

予定時刻	A班	B班	C班	D班
13:00～13:20	中部運輸局のお話			
13:20～14:00	船橋見学	機関制御室見学	結索体験	船内見学他
14:00～14:40	機関制御室見学	結索体験	船内見学他	船橋見学
14:40～15:00	伊勢湾を航行する大型船の見学など			
15:00～15:40	結索体験	船内見学他	船橋見学	機関制御室見学
15:40～16:20	船内見学他	船橋見学	機関制御室見学	結索体験

16:40 鳥羽市の鳥羽商船高専に到着。 乗組員に感謝を伝え、商船高専に徒歩で移動。

17:10 終りの話をして解散。

鳥羽バスセンターで集合した参加者はバスでJMU津造船所に向かいましたが、バスの車中では故郷の海を愛する会の会長の挨拶と船や海に関するDVDを見ました。



津市に向かうバス車中でビデオ鑑賞。



JMU造船所構内で船の建造工程の見学。



プラモデルを作るように小さい部品から始め、
段々と大きくします。



船の船尾部分です。



ドックゲートで集合写真を撮りました。



造船所の歴史やLNG船の構造等を学びました。



重い鉄がなぜ水に浮かぶか勉強



バス2台で移動



練習船に乗船



救命胴衣の使い方の説明



中部運輸局の話



船橋で船長の話



うまく操縦できるかなー



機関長の話



ロープの結び方体験



鳥羽丸の航路



であった船にゴキゲンよ---



鳥羽丸をバックに集合写真

JMU造船所の皆さん、鳥羽商船高専の練習船の皆さん、ご協力有難うございました。

活動その③ 四日市港の見学と火力発電所の見学 8月22日実施

参加者、小中学生82名、は鳥羽市の鳥羽商船高専と近鉄津新町駅でバス乗車の為に集合しました。集合後、それぞれバスで四日市港に移動し、四日市港管理組合の協力を得て、10時20分から四日市港のポートビルうみてらす14の見学と高速艇のゆりかもめでの港内見学を楽しみました。コンテナ船や自動車専用船などを見る事が出来ました。その後、川越火力発電所に移動し、構内をバスで見学したり、電力館テラ46で「発電」について学び、体験しました。川越火力発電所はLNGで蒸気を沸かし発電しています。そのLNGを運んでくるLNG船を子供たちに見てもらいたかったのですが、残念でした。

電力館テラ46の皆さん、お世話になりました。

夏の暑さのせいか、活動日近くになって体調不良でキャンセルする子供が多く居て、計画の90名を超える参加予定でしたが、82名となってしまい、残念でした。募集時に定員オーバーでお断りした方々には申し訳なく思っています。

当日のスケジュールは以下の通りです。

07:45 於:鳥羽商船高専 受け付け開始 08:05 集合時刻 バス1台
 08:15 鳥羽商船高専からバス1台 出発
 08:30 於:近鉄津新町駅 受け付け開始 08:50 集合時刻 バス1台
 09:00 近鉄津新町 出発
 09:20 高速道路安濃SAで合流 トイレ休憩 09:30 出発
 10:20 四日市港ポートビル到着

予定時刻	1号車	2号車
10:20～10:30	移動	移動
10:30～11:10	うみてらす14見学 (ナビ、展望、自由)	ゆりかもめ体験乗船
11:10～11:20	移動	移動
11:20～12:00	ゆりかもめ体験乗船	うみてらす14見学
12:00～12:10	移動	移動

12:10 バスに乗車 四日市港出発

12:30 中部電力テラ46 到着

予定時刻	1号車	2号車
12:30～10分間	バス車中で資料配布 スケジュールの説明など	
12:40～40分間	昼食 会議室BC	
13:20～30分間	概要説明 会議室BC	
13:50～	発電所見学 バスに乗車	電力館自由見学 アドベンチャーランドなど
14:15～	電力館自由見学	
15:05～15:30	アドベンチャーランドなど	発電所見学 バスに乗車

15:30 見学終了、帰途につく。

16:20 高速道 安濃SAで休憩 バス2台別々に出発

16:50 津新町駅到着 解散

17:30 鳥羽商船高専到着 解散



鳥羽商船に集合組の受付。



四日市港ポートビルに到着。



うみてらす14で四日市港の説明を受けました。



四日市港コンテナ埠頭を見下ろす。



あなたも船長 操船体験。



ゆりかもめで港内見学。



大きいコンテナ船が停泊していました。



電力館で電気の勉強をしました。



通電実験します。



電力館の中で色々と電気の事を学びました。



発電所構内の見学です。



LNG船の種類を学びました。



NPO法人 故郷の海を愛する会 海から始まる物語 IN 2017
イベントその③ 「四日市港の見学と火力発電所の見学」
2017年8月22日実施 小中学生82名参加 バス1号車



NPO法人 故郷の海を愛する会 海から始まる物語 IN 2017
イベントその③ 「四日市港の見学と火力発電所の見学」
2017年8月22日実施 小中学生82名参加 バス2号車

四日市港ポートビル前で集合写真です。

活動その④ もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう、商船学校の歴史と船と海の話 12月9日実施

参加者、小中学生69名、は鳥羽市の鳥羽商船高専に集合し、鳥羽商船の校祖 近藤真琴と攻玉伝、身近な電気の話、水先案内人の話等の講演を聞き、お昼にはビンゴゲームを楽しみ、午後には以下の4つについて体験しました。

- ・船長になって操船しよう (操船シュミレーター)
- ・ディーゼルエンジンを動かそう
- ・IchigoJamでマイコンプログラミング
- ・ロボコン実演

募集は50名の予定でしたが、多くの応募を頂きました。4名ほど体調不良などがありキャンセルとなりましたが、最終69名もの子供たちに参加して頂き、盛況にみんなで喜んでいきます。

当日のスケジュールは以下の通りです。

08:00	主催者集合時刻	
08:30	参加者受付開始	参加者を4号館マルチメディア室に案内
09:00	集合時刻	
09:10～	挨拶	故郷の海を愛する会 会長 川口 心也
09:20～	講演 鳥羽商船学校校祖 近藤真琴と攻玉伝	元鳥羽市少年探偵団団長 塩野 明俊 氏
10:50～	講演 身近な電気のお話	鳥羽商船高専 教授 古森 郁尊 氏
11:30～	昼食 ビンゴゲーム サンタさん登場か?	潮騒会館
12:30～	記念撮影	近藤真琴記念碑前
12:40～	講演 水先案内人の話	水先案内人 増島 忠弘 氏
	※上記挨拶から3講演は4号館マルチメディア室で実施	
13:20～	チャレンジ体験コーナー	参加の子供達は4班に分かれ活動します。
	IchigoJamでプログラミング体験	機械制御室(3号館1階)
	ロボコン実演	ものづくり工房
	ディーゼルエンジンを動かそう	内燃機関実習工場
	船長になって操船しよう	操船シュミレータ室
15:20～	参加者 アンケート記入	4号館マルチメディア室
15:30～	挨拶	鳥羽商船高専 林 祐司 校長
15:35	終わりの挨拶	解散

毎年恒例の活動ですが、従来よりも約1時間開始を早めました。

鳥羽の市民劇団「かたらづか劇団」が2017年7月に上演した鳥羽商船学校の校祖「近藤真琴」の「攻玉伝」をDVDに収録したものを子供たちに見てもらいました。子供たちは鳥羽商船が「近藤真琴」によってつくられたことに驚き、日本の未来を見据えた前向きな生き方に感動していたようです。

鳥羽商船高専の皆さん、ご協力有難うございました。



塩野さんの「近藤真琴の話」。



かたらづか劇団の「攻玉伝」DVD観賞。



小森先生の「身近な電気の話」。



実験もしましたね。



楽しいお昼。



そしてビンゴゲーム。



サンタさん登場!!



集合写真を撮りました。



増島パイロットの話



いっぱい質問があります。



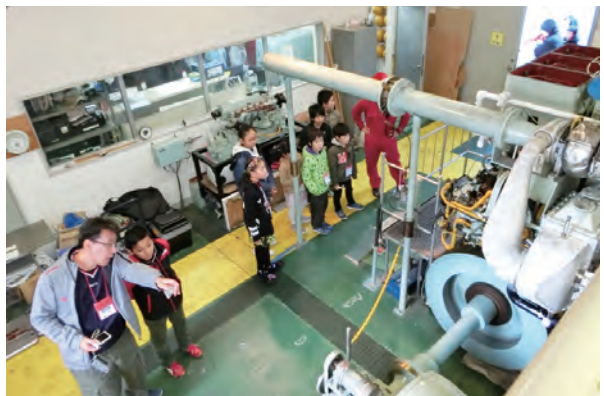
プログラミングの体験



ロボコン出場ロボの見学



ディーゼルエンジンを起動します



どうなっているのかなー？



操船シミュレーターで操船体験します



鳥羽商船高専の校長先生のお話です

アンケートの集計 活動その①

参加者全員65名中 63名が書いてくれました。それを以下の通りまとめました。

- Q1 どこから参加したか? 省略します。
- Q2 学年と性別は? 省略します。
- Q3 イベントを何で知った? A 学校 TV 新聞 広報紙 知人など 親 その他
33 1 0 6 2 2 8 (海洋少年団等)
海洋少年団が6名参加です。
- Q4 誰が参加を決めたか? A 自分 親 先生 友達 その他 ?
38 33 0 1 2 (海洋少年団等)
複数回答あり。
- Q5 集合場所には誰と来ましたか? A 自分ひとり 友達 保護者 知人 その他
6 16 32 6 2(兄弟)1(海洋少年団)
- Q6 なぜ参加しようと思いましたか? A 面白そう、楽しそうだった 32 以前参加して楽しかったので 6
初めてだったので 3 海が好きだから 9 知人が一緒他 5
面白そう、楽しそうで参加した人が多かったです。
- Q7 何が一番楽しかった? A 磯遊び 館内見学 マグネット作り その他
33 12 26
磯遊び体験が一番楽しかったようです。
- Q8 磯遊びで何を見つけましたか? A 魚、ヤドカリ、ウミウシ、イソギンチャク、カニ、エビ等、海の博物館がタモ
やバケツを貸してくれました。磯で色々見つけて楽しんだようです。
- Q9 ビーチコーミングでは何を? A 貝、貝殻、イカの甲、ビン、シーグラス、流木、歯ブラシ等、海の博物館の
方に見つけてきた貝の名前などを教えてもらいました。
- Q10 「海洋ゴミと津波」で何を感じた? A 多くの参加者が、ごみを捨てるなどして海を汚してはいけない事、
津波の映像を見て津波がとても怖いと感じたようです。
- Q11 船の話を聞いて何を感じた? A いろんな船がある事、船がとても大事であること。船を動かすことが
スゴイ。
- Q12 館内見学で一番何に興味を? A 海女さん 15 潜水艦 9 船の模型 8 カツオの一本釣り 2
海女さんに一番興味を持ったようです。
- Q13 マグネット体験で何を感じた? A 楽しかったと答えた参加者が一番多かった。難しかったと8名が。
自分の好みで作れるのが良かったようです。
- Q14 故郷の海を愛する会を知っていた? A 「はい」21 「いいえ」39
多くの子供が知らなかったようです。
- Q15 今までにこのような活動に参加した? A 「はい」21 「いいえ」38 まだまだですね。
- Q16 今後このような活動に参加したい? A 「はい」58 「いいえ」1 嬉しいですね。
- Q17 「いいえ」と書いた理由は? A コメントがありませんでした。
- Q18 新しい友達が出来ましたか? A 「はい」48 「いいえ」11
新しい友達が出来たようでうれしいです。

Q19 ほかの人と話をしましたか?

どんな話をしましたか?

A 「はい」 47 「いいえ」 12
 他の人、ボランティアの人と話をしていると思いますが、もっと話をしたいです。
 色々と話をしたようです。
 自己紹介 学校のこと 津波の事 貝の話等

Q20 今日の印象は?

A とても楽しかった、楽しかった 32 磯遊びが楽しかった 6
 マグネット作りが楽しかった 4 新しい友達が出来た 1

活動その②

参加者61名 回答あり52名でした。船酔いでアンケートを書けない子がいました。

Q1 どこから参加ですか?

省略します。

Q2 学年と性別は?

省略します。

Q3 イベントを何で知りましたか?

A 学校 TV 新聞 広報紙 知人など その他
 35 0 0 5 8 0

Q4 誰が参加を決めたか?

A 自分 親 先生 友達 その他
 23 27 0 3 0

Q5 集合場所には誰と来ましたか?

A 自分ひとり 友達 保護者 知人
 2 19 36 2

Q6 何を一番楽しみにして来ましたか?

A 造船所見学 11 体験航海 39

Q7 津のJMU造船所で何が楽しかった?

A 昼食 ビデオ説明 構内見学 その他
 13 1 36 0

Q8 造船所で一番びっくりした事は?

A 船の大きさ 20 大きな部品があった 4 クレーンの大きさ 2
 すごく重い 2 機械が一杯 2 作り方、時間とか精度等 8
 工場の広さ 2

Q9 どうして水よりも重い鉄でできた船が浮かぶのでしょうか?

A 浮力 19 水圧がある 3 洗面器や桶のような形をしている 4
 中が空洞になっている 4 水で支えている 6
 なかなか難しい質問の様です。造船所の方に説明してもらいましたが。

Q10 造船所で作っているLNG船のLNGとは?

A 液化天然ガス 10 天然ガス 9
 他には、液体ガス、液体窒素、会社の名前、ガス、ガスの液体化、石油貨物船。 わからないとかいた人12名いました。これも造船所の方に説明してもらったのですが。難しい?

Q11 鳥羽丸で何が楽しかった?

A 操舵室見学 機関制御室見学 ロープワーク 船内見学
 21 6 8 8

Q12 鳥羽丸でびっくりした事

A 船が揺れること。そして酔った。7 燃料を2ドラム使う 3
 エンジン室がうるさかった、臭かった。12
 ロープワークで色々な結び方 2 13名で船を動かしている事 2
 操舵室の設備、操縦の難しさ。3 船が大きい、小さい。4
 プロペラの向きを変えて前進後進させること。2

Q13 鳥羽丸を後ろに進めるのはどうするのでしょうか?

A プロペラを逆に回す 2 プロペラの羽根の向きを逆にする 43

- Q14 鳥羽商船高専を知っていたか? A 「はい」 28 「いいえ」 22
- Q15 故郷の海を愛する会を知っていたか? A 「はい」 21 「いいえ」 28
商船高専も故郷の海を愛する会も未だ知名度が低いです。
- Q16 今後このような活動があったら参加したい? A 「はい」 46 「いいえ」 3
励みになります。
- Q17 「いいえ」とかいた人は何故? A 船酔いしたので。2
- Q18 新しい友達が出来ましたか? A 「はい」 27 「いいえ」 22
- Q19 今日、他校の人やボランティアと話をしましたか?
どんな話をしましたか? A 「はい」 38 「いいえ」 11
いろん話 5 船の事 9 学校のこと 4 波の話 2 など
- Q20 今日の印象は? A 楽しかった、勉強になった 26 涼しくて気持ちよかった 3
ロープの結び方、レーダーの事。船が大きかった、早かった。
係の人が優しくかった。2回目なので少しまらなかつた。

活動その③

参加者82名 回答あり80名でした。それを以下の通りまとめました。

- Q1 どこから参加ですか? A 省略します。
- Q2 学年と性別は? A 省略します。
- Q3 イベントを何で知った? A 学校 TV 新聞 広報紙 知人など その他
45 2 0 12 11 4
- Q4 誰が参加を決めたか? A 自分 親 先生 友達 その他
48 41 0 9 0
- Q5 集合場所には誰と来ましたか? A 自分ひとり 友達 保護者 知人
3 24 58 3
- Q6 何を一番楽しみにしてきましたか? A うみてらす 9 ゆりかもめ 23 テラ 33 全部 9
- Q7 びっくりした事? A コンテナが大きく一杯あつた 5 海テラス 5
タンクが1週間で空になる 6 LNGはとても冷たい 2
発電所や電気の事 12 貿易の99%が船 1 名古屋が近い 1
四日市港が世界につながっている 1 船が揺れる 2
- Q8 港でどんな船を見たか? A タンカー コンテナ船 自動車専用船 LNG船 パラ積船 材木船
22 62 56 15 9 8
- Q9 ゆりかもめ乗船で何を感じた? A 港が大きくスゴイ 11 大きい船が一杯 12 海がきれい、汚い 6
コンテナが一杯 3 塩の山 3 船が揺れる、早い 2
- Q10 四日市ぜんそくを知っている? A 「はい」 43 「いいえ」 28
日本の4大公害の一つ 6 工場の排気ガスが原因 10
空気の汚染 3 裁判になった 2 みんなマスクをつけた 2
- Q11 川越火力発電所の電気は何から? A 石炭 石油 LNG 原子力
14 7 51 4
- Q12 燃料はどこから運ばれた? A 米国 中国 豪州 インド インドネシア チリ カタール イタリア
11 6 33 4 13 2 31 3

- Q13 LNGがクリーンエネルギーの訳? A CO2が少ない 4 きれいだから 7 空気が汚れるから 2
天然ガスだから 4 燃やした時排気ガスが出ない 2
- Q14 鳥羽商船高専を知っていたか? A 「はい」 61 「いいえ」 11
- Q15 故郷の海を愛する会を知っていましたか? A 「はい」 46 「いいえ」 34
- Q16 今後、このような活動があったら参加したいですか? A 「はい」 73 「いいえ」 6
- Q17 「いいえ」の理由は? A あまりおもしろくないから 2 あまり興味が無いから 2
予定が合わない 2 知らなかったから 2
- Q18 新しい友達が出来ましたか? A 「はい」 56 「いいえ」 24
- Q19 今日、他校の人やボランティアの人と話をしましたか?
どんな話をしましたか? A 「はい」 51 「いいえ」 27
色々 8 面白い話 7 学校の話 7 名前 2
テラ46の事 3 お弁当の話 1 その他いろいろ 16
- Q20 今日の印象は? A 楽しかった、とても楽しかった 48 いろんなことが知れた 18
難しかった 1 暇だった 1

活動その④

参加者69名全員が書いてくれました。それを以下の通りまとめました。

- Q1 どこから参加したか? A 省略します。
- Q2 学年と性別は? A 省略します。
- Q3 イベントを何で知った? A 招待状 母 友人など ブログ その他
38 3 18 4 3
- Q4 誰が参加を決めたか? A 自分 親 先生 友達 その他
48 28 0 6 1
- Q5 何で来ましたか? A JR 近鉄 バス 乗用車 徒歩 その他
0 12 0 56 0 0
- Q6 講演で何が楽しかった? A 近藤真琴と「攻玉伝」 身近な電気の話 水先案内人の話
9 31 33
- Q7 体験コーナーでは何が楽しかった? A プログラミング ロボコン 船の運転 エンジン操作
36 35 10 4
- Q8 今日、びっくりした事、エーっと感じたこと。 A ロボットの作り方など 21 プログラミングの画面とが作り方 10
近藤真琴が学校を作った 7 エンジンが大きい等 6
操船シミュレーター 3 ビンゴ大会 2 いろいろ 1
- Q9 今日、他校の人やボランティアの人と話をしましたか?
どんな話をしましたか? A 「はい」 49 「いいえ」 18
学校の話 3 ビンゴの話 5 ゲームの事 5 質問 3
体験コーナーの話 6 いろいろ 14
- Q10 鳥羽商船高専を知っていましたか? A 「はい」 56 「いいえ」 12

- Q11 どんな学校とって思っていましたか? A 船の学校 36 ロボットやプログラミングの学校 7
難しい学校 2 楽しい、楽しそうな学校 4 等
- Q12 将来、入学したいと思いますか? A 「はい」 33 「いいえ」 31
- Q13 入学したい人はどの学科がいい? A 商船学科 13 電子機械工学科 17 制御情報工学科 10
- Q14 水先案内人を知っていましたか? A 「はい」 13 「いいえ」 54
- Q15 何をする人でしょうか? A 「船長に代わって港で安全に船を出入港させる」 31
「航海する人、世界を船で回る人」 7
- Q16 近藤真琴が商船学校の創立者であること知っていた? A 「はい」 20 「いいえ」 47
- Q17 記念碑の文字は勝海舟が書いたこと知っていた? A 「はい」 29 「いいえ」 38
- Q18 外国から輸入するものを船が99%以上運んでいる事を知っていましたか? A 「はい」 35 「いいえ」 31
- Q19 今日、新しい友達が出来ましたか? A 「はい」 34 「いいえ」 33
- Q20 今後、このような活動に参加したいですか? A 「はい」 61 「いいえ」 8

配布資料など

参加した子供達に以下の参考資料等を配布しました。

名前	提供・発行
・海事産業 海の仕事発見隊	中部運輸局
・船ってサイコー	日本船主協会
・海の上のプロフェッショナル	日本船主協会
・日本の海運 SHIPPING NOW 2017-2018	日本船主協会
・ぼくとわたしのSHIP GUIDE	日本船主協会
・暮らしを支える日本の海運	日本船主協会
・LAMER 232号ダイジェスト版	日本船主協会
・船員さんのひみつ	全日本海員組合
・船長・機関長になるには	全日本海員組合
・やっぱり海が好き	全日本海員組合
・船の誕生 ~船ができるまで~	日本中小型造船工業会
・造船業は日本の生命線	日本造船工業会
・JMU津事業所案内	JMU
・竣工船紹介はがき	JMU
・What is 内航海運?	日本内航海運組合総連合会
・内航海運の活動 平成27年度版	日本内航海運組合総連合会
・船のお仕事チェック	日本海事広報協会
・いっしょにやろうよ 海洋少年団	日本海洋少年団連盟
・海の博物館	海の博物館
・四日市港たんけん	四日市港管理組合
・川越火力発電所	中部電力
・遊んで学べる、地球46億年	川越電力館テラ46

・募集のポスターなど

活動その①②③用の募集ポスターは三重県の中南勢地区の小中学校に掲示して頂きました。募集用リーフレットは各学校を通して小学5・6年生、中学1・2年生に配布をお願いしました。



ポスター A2サイズ



リーフレット A4サイズ (表)

昨年までの募集活動に際し、電話での問い合わせや、応募があり、その対応に追われ大変でしたので、今年の募集用のリーフレットの裏面に応募時の注意事項を記載しました。その効果もあり、メールでの応募が増え、電話での問合せも減り、スムーズな応募対応が出来ました。



(裏)

活動その④の参加者募集は「招待状」として今年度の活動に応募したものの定員オーバーで参加できなかった人達、少ししてから、今年の活動に参加した人達、昨年の活動に参加した人達に案内しました。

・広報紙、新聞など

三重県の中南勢地区の4市5町の広報紙に募集記事を掲載して頂きました。活動その③については応募が予想を超える早さと員数でしたので、掲載をお断りしました。広報紙関係の方々にはご迷惑をおかけしました。

海から始まる物語IN2017

①第1回「海の博物館見学と海の話」
 7月8日(土)8時55分～17時20分
 海の博物館(鳥羽市)
 ※松阪駅前または三重交通鳥羽バスターミナル集合 博物館見学、磯遊び体験など

②第2回「JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船体験航海」
 7月27日(木)8時30分～17時10分
 JMU津造船所(雲出鋼管町)～伊勢湾～鳥羽市 ※JMU津造船所または三重交通鳥羽バスターミナル集合、鳥羽商船高専専門学校で解散
 いずれも小学5年生～中学生 各60人 各1,000円(昼食、飲料水、保険代を含む)
 ①は7月6日(木)までに、②は7月25日(火)までに、ファクスまたはEメールで故郷の海を愛する会(☎0599-25-8128、✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp)へ
 同会担当(☎090-7612-2979)

広報津

海から始まる物語IN2017

海の博物館(鳥羽市)を見学し、海辺で磯遊び体験をします。
 ●とき 7月8日(土)午前8時55分～午後5時20分
 ●集合場所 松阪駅前(JR側改札)又は三重交通鳥羽バスターミナル
 ●対象 主として小学5・6年生、中学生
 ●定員 60人(先着順)
 ●参加費 1,000円(昼食、飲料水、保険代)
 ●締切日 7月6日(木)
 ●申込方法 FAXまたはメール

【問・申】 故郷の海を愛する会 イベント事務局
 ☎090-7612-2979
 ☎0599-25-8128
 ✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp

広報松阪

海から始まる物語IN2017
JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

●とき 7月27日(木)午前8時30分～午後5時10分
 ●集合場所 JMU津造船所又は三重交通鳥羽バスターミナル
 ●対象 主として小学5・6年生、中学生
 ●定員 60人(先着順)
 ●参加費 1,000円(昼食、飲料水、保険代)
 ●締切日 7月25日(火)
 ●申込方法 FAXまたはメール

【問・申】 故郷の海を愛する会 イベント事務局
 ☎090-7612-2979
 ☎0599-25-8128
 ✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp

広報伊勢

海から始まる物語 IN 2017
NPO 法人故郷の海を愛する会
 ☎ 090-7612-2979 ☎ 0599-25-8128

海の博物館見学と海の話
 7月8日(土)、8:55～17:20
 海の博物館(鳥羽市浦町大木 1731-68) (集合場所:松阪駅前または三重交通鳥羽バスターミナル)
 小学5年生～中学生
 海の博物館の見学と海辺で磯遊び体験などを行います。 60人(先着順)
 1,000円(昼食・飲み物・保険代を含む)
 7月6日(木)までに、ファクス・Eメール(✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp)で同会へ

JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海
 7月27日(木)、8:30～17:10
 JMU津造船所(津市)～伊勢湾～鳥羽市(集合場所:三重交通鳥羽バスターミナルまたはJMU津造船所、解散場所:鳥羽商船高専専門学校)
 小学5年生～中学生
 JMU津造船所で大型船の建造を見学後、鳥羽商船高専専門学校の練習船に乗って伊勢湾を体験航海します。
 60人(先着順)
 1,000円(昼食・飲み物・保険代を含む)
 7月25日(火)までに、ファクス・Eメール(✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp)で同会へ

NPO法人 故郷の海を愛する会 海から始まる物語

①海の博物館見学と海の話
 とき 7/8(土)8:55～17:20
 申込締切 7/6(木)
 ところ 海の博物館(鳥羽市)
 定員 60人 先着順

②JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海
 とき 7/27(木)8:30～17:10
 申込締切 7/25(火)
 ところ 津市JMUほか
 定員 60人 先着順
 募集対象 主に小学5・6年生、中学生
 参加費 それぞれ1,000円
 申し込み ☎0599-25-8128
 ✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp
 問い合わせ ☎090-7612-2979 (故郷の海を愛する会イベント事務局)

広報志摩

NPO法人 故郷の海を愛する会 海から始まる物語 IN 2017

●第一回イベント 海の博物館見学と海の話
 内容:バスで鳥羽の海の博物館に移動。館内見学や海辺で磯遊び体験等をする。
 日 時:7月8日(土) 開:午前8時55分～午後5時20分
 場 所:【活動場所】鳥羽市の海の博物館 【集合場所】松阪駅前 又は 三重交通 鳥羽バスターミナル
 定 員:60名 先着順
 申込締切:7月6日(木)

●第二回イベント JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海
 内容:バスで津市に移動し、造船所で大きな船の建造を見学、練習船で伊勢湾を体験航海する。
 日 時:7月27日(木) 開:午前8時30分～午後5時10分
 場 所:【活動場所】津市JMU津造船所～伊勢湾～鳥羽市 【集合場所】JMU津造船所 又は 三重交通 鳥羽バスターミナル 【解散場所】鳥羽市鳥羽商船高専
 定 員:60名 先着順
 申込締切:7月25日(火)

※募集のポスターなどを6月に市内各小中学校に配布します。
 ●お問合せ 故郷の海を愛する会 イベント事務局 ☎090(7612)2979

広報玉城

NPO法人故郷の海を愛する会 海から始まる物語IN2017

【第一回イベント】海の博物館見学と海の話
 ●とき 7月8日(土)午前8時55分～午後5時20分
 ●活動場所/鳥羽市の海の博物館 集合場所/松阪駅前又は三重交通鳥羽バスターミナル
 ●内容 バスで鳥羽の海の博物館に移動、館内見学や海辺で磯遊び体験等をする。
 ●定員 60人(先着順) 申込締切 7月6日(木)

【第二回イベント】JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海
 ●とき 7月27日(木)午前8時30分～午後5時10分
 ●活動場所/津市JMU津造船所～伊勢湾～鳥羽市 集合場所/JMU津造船所 又は三重交通鳥羽バスターミナル 解散場所/鳥羽市鳥羽商船高専
 ●内容 バスで津市に移動し、造船所で大きな船の建造を見学、練習船で伊勢湾を体験航海する。
 ●定員 60人(先着順) 申込締切 7月25日(火)
 ●募集対象 主として小学5・6年生、中学生 参加費 各¥1,000(昼食、飲料、保険代)
 ●申し込み FAX 0599-25-8128 E-mail umiwoaisurukai@yahoo.co.jp ※募集のポスターなどを6月に明和町内各小中学校に配布します。問い合わせは故郷の海を愛する会イベント事務局(☎090-7612-2979)へ。

広報明和

NPO法人 故郷の海を愛する会 海から始まる物語 IN 2017


第一回イベント 海の博物館見学と海の話
 内容:バスで鳥羽の海の博物館に移動、館内見学や海辺で磯遊び体験等をする。

第二回イベント JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海
 内容:バスで津市に移動し、造船所で大きな船の建造を見学、練習船で伊勢湾を体験航海する。

とき 2017年7月8日(土) 午前8時55分～午後5時20分
 活動場所 鳥羽市の海の博物館
 集合場所 松阪駅前 又は 三重交通鳥羽バスターミナル
 定員 60名(先着順) 申込締切 7月6日(木)

とき 2017年7月27日(木) 午前8時30分～午後5時10分
 活動場所 津市JMU津造船所～伊勢湾～鳥羽市
 集合場所 JMU津造船所 又は 三重交通鳥羽バスターミナル
 解散場所 鳥羽市鳥羽商船高専
 定員 60名(先着順) 申込締切 7月25日(火)

募集対象 主として小学5・6年生、中学生
 参加費 それぞれ1,000円
 (昼食・飲料水・保険代)
 申込み問い合わせ先 故郷の海を愛する会 イベント事務局
 ☎090(7612)2979
 ☎0599(25)8128
 ✉umiwoaisurukai@yahoo.co.jp



広報多気

「海から始まる物語 IN 2017」を開催
第1回 海の博物館見学と海の話

【開催日時】
7月8日(土)
午前8時55分～午後5時20分

【集合場所】
松阪駅前または三重交通 鳥羽バスターミナル

【申込期限】
7月6日(木)

【開催日時】
7月27日(木)
午前8時30分～午後5時10分

【集合場所】
JMU津造船所または三重交通鳥羽バスターミナル

【申込期限】
7月25日(火)

【対象者】
主として小学校5・6年生

【定員】
および中学生 60人

【参加費】
1,000円

【申込方法】
ファクスまたはメールで申し込み

※詳しくは、町内小・中学校に配布する募集案内をご覧ください。

【申込問合せ先】
NPO法人故郷の海を愛する会 イベント事務局
☎00761212979
☎05961518128
✉umiwaitsunikai@yahoo.co.jp

広報度会

海から始まる物語 IN 2017

第一回イベント
海の博物館見学と海の話
とき 7月8日(土)
8時55分から17時20分まで
ところ 鳥羽市の海の博物館

【集合場所】
松阪駅前、または三重交通鳥羽バスターミナル

【申込締切】 7月6日(木)

【第二回イベント】
JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海
とき 7月27日(木)
8時30分から17時10分まで

【ところ】
津市JMU津造船所、伊勢湾、鳥羽市

【集合場所】
JMU津造船所、または三重交通鳥羽バスターミナル

【解散場所】 鳥羽市鳥羽商船高専

【申込締切】 7月25日(火)

【対象】
ともに小学5・6年生、中学生
※募集のパンフレットを町内各小中学校へ配布します。

【参加費】
ともに1,000円(昼食・飲料水・保険付)

【定員】
ともに60名

【問い合わせ先】
NPO法人故郷の海を愛する会
☎00761212979

広報南伊勢

・インターネットで募集記事

参加者募集中 [2017年06月02日 (Fri)]


故郷の海を愛する会の活動募集を開始しました。2017年度は「海から始まる物語 IN 2017」として4回の活動を計画しておりますが、活動その①、②、③について募集のポスターとリーフレットを用意して、5月末に三重県中南勢地区の各市町の教育委員会を通して、小中学校に配布をお願いします。

その① 7月8日(土) 海の博物館見学と海の話 60名募集
鳥羽市の海の博物館の近くの前で磯遊びと漂着物観察をして、その後、海の博物館で話を聞いたり、館内見学やマグネット作り体験をする。

その② 7月27日(木) JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海 60名募集
津市のJMU造船所でLNG船の建造工程を楽しく学び、見学し、鳥羽商船高専の練習船に乗って伊勢湾体験航海をする。

その③ 8月22日(火) 四日市港の見学と火力発電所の見学 90名募集
四日市港ポートビルみてらす14から港を眺め、ユリカモメに乗りこし港内を遊覧見学する。午後は火力発電所の電力館テラ46でLNGを扱う発電の様子を学び、遊ぶ。

募集対象は小学5・6年生と中学生としています。三重県中南勢地区でのみ募集のポスター等を配っていますが、応募は三重県在住の小中学生と限定していませんので、他の県の方も応募歓迎です。



故郷の海を愛する会のブログ

「高船学校の歴史と船と海の話」12月9日 参加者募集中 [2017年11月02日 (Thu)]

今年度の活動その④「もうすぐクリスマス。選んで学ぶ、高船学校の歴史と船と海の話」を12月9日(土)に実施します。参加者募集中です。詳細は添付をご覧ください。

募集.pdf

募集対象者は小学5・6年生と中学生、兄・姉が参加の場合、4年生以下の小学生と一緒に参加できます。添付の写真は昨年度の活動の様子(乗船シュミレーター体験、エンジン発機体験)です。



2017.06.18 当協会第76回通常総会について

2017.06.18 外航オーナーズ協会 第59回定時総会について

2017.06.18 「海の日」を中心とした海運イベントの実施について

2017.06.18 【公告】平成28年度費対照表

2017.06.18 【船ってサイコ〜2017】7/17『高船三井 自動車用船見学会(晴海)』

2017.06.12 平直な意見交換を通じて関係を強化～海技教育機構と内航海運事業者の債権交換会を開催～

2017.06.09 奈良県立育明中学校・高等学校にて外航海運の重要性や船員の魅力に関する講演を実施

2017.06.08 【船ってサイコ〜2017】9/16『神戸大学 実習船「白頭」体験乗船(神戸)』

2017.06.08 【船ってサイコ〜2017】8/22『四日市港の見学と火力発電所の見学(鳥羽)』

2017.06.09 【船ってサイコ〜2017】8/10『海技教育機構「大成丸」海洋教室・新船づくり講習会(干葉)』

2017.06.09 【船ってサイコ〜2017】8/6『日本郵船 自動車用船見学会&タグポート体験乗船会(横浜)』※6/20受付開始

2017.06.09 【船ってサイコ〜2017】7/29『神戸大学 実習船「白頭」体験乗船(神戸)』

2017.06.08 【船ってサイコ〜2017】7/27『JMU造船所見学と練習船「鳥羽丸」体験航海(鳥羽)』

2017.06.01 外航海運セミナーの開催について

2017.06.01 今迄「バリエーション」にて外航海運セミナーを開催

日本船主協会のHPに募集ポスターアップ

・活動紹介記事など



活動その②の紹介記事が読売新聞に掲載されました。



7月27日の「JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海」の際、海と日本プロジェクトの取材がありました。共催の日本中小型造船工業会のご協力によるものです。



左のレポートの内容を一部、以下に紹介させていただきます。

当協会は、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、7-8月の夏休み期間に、初めての試みとして鳥羽商船高等専門学校のOBの方々が中心となって活動されているNPO法人 故郷の海を愛する会と共催で、三重県内小中学生を対象に見学会を開催しました。各見学会概要は以下の通りです。

【JMU造船所見学と鳥羽商船高等専門学校の練習船で体験航海】開催日:7月27日(木)／参加者数:61名 先ず2台のバスに分乗しJMU津造船所構内で大型船LNG船の建造工程を見学し、ドックゲートではバスを降りて、巨大船を目の当たりにした子供たちは歓声を上げていました。

共催の日本船主協会のHPに活動が紹介されました。

3. その他の活動

◎鳥羽商船の校祖「近藤真琴」の攻玉伝

7月9日、鳥羽の市民劇団である「かたらづか劇団」が第13回目の公演として「攻玉伝!」を上演しました。鳥羽商船学校の創始者である近藤真琴の物語です。故郷の海を愛する会も「後援」しました。鳥羽市民文化会館大ホールに多くの観客を得て、笑いあり涙あり、成功裏に終了しました。ロビーに故郷の海を愛する会の広報活動として活動紹介と「近藤真琴」の写真パネルを展示しました。



「日本の発展のためには産業の振興が第一であるので、その目的を果たすために貿易が不可欠であり、運輸に必要な船員を育成しなければならない。自分の故郷である鳥羽は良港であり、地理的にも歴史的にも商船教育の最適地である。」という考えに沿い、彼が明治14年に鳥羽商船を設立しました。鳥羽商船は今は国立鳥羽商船高等専門学校となり、商船教育を続けています。

◎海洋少年団やセイラビリティ伊勢と協力して活動

海洋少年団に加え、セイラビリティ伊勢とも協力して活動しています。セイラビリティ伊勢は伊勢市と協力して「夏休み子ども体験ツアー2017」を行いました。大湊コースとして夏休み中に6回実施し、多くの子供や保護者が参加し、ヨット体験やロープの結び方体験を行いました。本会のメンバーも参加して活動協力しました。

伊勢市主催 夏休み子ども体験ツアー2017 大浜コース 開催報告 3日
 12名の小学生と11名の保護者の参加を得て、ヨット体験実施しました。雨が心配でしたが、パラパラ降っただけで済み、結構な一日でした。

ボランティアの方も慣れてきて、怪我のないように、子供たちが楽しめるように、気をつけていました。



今年の6日の活動の半分を消化、残り半分です。子供たちが楽しんで帰っているようなので、来年はもっともっと期待？させよう。



◎津商工会議所青年部 海で「きずな」を深めよう

8月27日、津ヨットハーバーでの津商工会議所青年部の8月の例会に出席し、故郷の海を愛する会の活動紹介並びにロープワークの指導を行いました。50余名が参加となりました。

津商工会議所青年部の例会で会の活動紹介と結案指導 [2017年08月28日 (Mon)]

8月27日、津市ヨットハーバーで津商工会議所青年部の例会で故郷の海を愛する会の活動の紹介とロープワークの指導を行いましたので、紹介します。

会2017年8月27日.pdf

Posted by SHINYA at 10:21 | 活動報告 | この記事のURL | コメント(0)



◎鳥羽商船高専の海学祭

10月22日に鳥羽商船高専の文化祭である「海学祭」が予定されており、本会も活動紹介や「近藤真琴」の写真パネルの展示、加えて、海洋少年団による手旗信号実演もお願いしていました。しかし、残念ながら台風の接近など天候不良となり、海学祭は中止となりました。

第52回鳥羽商船海学祭
10月22日(日)開催!
 ※10月22日 8時50分更新※
 本日の海学祭は悪天候の為、中止となりました。

時刻	イベント	説明
9:40	校歌斉唱	本日の行事による校歌斉唱です。鳥羽商船ならではの協力ある方、応援にあなただけでお願いいたします！ぜひ来ててください！！
9:50	海洋少年団による手旗信号	去年に引き続き海洋少年団による手旗信号です！一斉練習した成果をぜひ見せてください！
10:30	活動パネル決定戦	各機関が選んだレポーターがステージで話し合います。観客の皆さんに選ばれるレポーターがうまいかを決めていただきます！一番おいしいと思う機関はどこと！？

4. 活動準備など

2017年度の活動に関連し、以下の通り活動への協力依頼・打ち合わせ・準備を行いました。

	月日	相手	場所	目的
2017年	3月14日	JMU造船所	津市	活動その②打合せ
	3月14日	海の博物館	鳥羽市	活動その①打合せ
	4月12日	日本中小型造船工業会 日本海事センター	東京都	活動協力依頼
	4月13日	日本船主協会 山縣記念財団	東京都	活動協力依頼
	4月25日	全日本海員組合名古屋支部 中部運輸局	名古屋市	活動協力依頼
	5月16日	四日市港管理組合 電力館テラ46	四日市市	活動その③打合せ
	10月1日	神島	鳥羽市	追加活動下見
	11月15日	名古屋海洋博物館 南極観測船ふじ	名古屋市	来年度活動下見

*活動施設の紹介



海の博物館 鳥羽



JMU津造船所



四日市港ポートビル うみてらす14



電力館テラ46

5.収支報告

2018年(平成30年)1月5日時点での仮決算です。見込みの費用支払いなどを含んでいます。

収入について、外部助成金には当初計画には含まれていなかった日本船主協会から¥23.2万、山縣記念財団から¥10.0万頂いています。参加費¥20.7万、会費¥9.1万と寄付¥45.9万、その他収益¥1万で合計¥242.6万となりました。その結果、外部助成金は合計で¥1,478,880、自己負担として¥947,000となりました。(助成が約60%、自己負担が約40%)

支出について、活動への参加者が当初計画より多くなり、昼食代などの費用が高んでいます。ただ、活動その②の傷害保険・賠償責任保険は日本中小型造船工業会、その他の活動の際の傷害保険は日本船主協会にお願いしましたので、その分、支出が減っています。

収入が当初計画より多くなり、資金的に余裕が出来たので追加の活動を計画し、募集もしましたが、当日の天候不良の為、活動を中止しました。よって、今年度の繰越金として約¥27.7万発生しました。

平成29年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書(仮決算30年1月05日)

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで) 特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費(個人)(1,000円×94人分)	88,000	
正会員受取会費(団体)(1,000円×3 団体)	3,000	91,000
2 事業収益		
第1回事業収益(1,000円×65人分)	65,000	
第2回事業収益(1,000円×60人分)	60,000	
第3回事業収益(1,000円×82人分)	82,000	
第4回事業収益(円× 人分)	0	
第5回事業収益(円× 人分)	0	207,000
3 受取寄付金		
受取寄付金(個人)	429,000	
受取寄付金(法人・団体)	3,000	469,000
4 受取助成金等		
受取民間助成金(日本中小型造船工業会)	147,160	
受取民間助成金(日本船主協会)	231,720	
受取民間助成金(日本海事センター)	500,000	
受取民間助成金(全日本海員組合)	500,000	
受取民間助成金(山縣記念財団)	100,000	
受取民間助成金(鳥羽商船同窓会)	160,000	
受取民間助成金(鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部)	20,000	1,658,880
5 その他収益		
受取利息	0	
雑収益	10,000	10,000
経常収益合計		2,425,880
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費	0	0
(2)その他の経費		
イベント事業費	547,508	
業務委託費	250,000	
諸謝金(講師・看護師・学生)	60,000	
募集経費	275,000	
印刷製本	185,476	
旅費交通費	479,080	
保険料	34,410	
雑費	19,915	1,851,389
2 管理費		
(1)人件費	0	0
(2)その他の経費		
租税公課	400	
交際費	29,920	
旅費交通費	19,680	
通信費・運搬費	127,131	
消耗品	107,451	
支払手数料	6,636	
雑費	6,214	297,432
その他経費合計		297,432
経常費用合計		2,148,821
当期正味財産増減額		277,059
前期繰越正味財産額		184
次期繰越正味財産額		277,243

貸借対照表(仮決算30年1月05日)

平成30年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 現金預金	45,000	
未収金		
流動資産合計		314,243
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア	0	
無形固定資産計	0	
(3)その他の資産		
その他の資産合計	0	
固定資産合計		0
資産合計		314,243
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
前受会費	37,000	
前受寄付金	0	
流動負債合計		37,000
2 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計		37,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		184
当期正味財産増減額		277,059
正味財産合計		277,243
負債及び正味財産合計		314,243

広くご寄付をお願いしました。ご寄付頂いた方々は以下の通りです。ありがとうございました。

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
久居地区明るい社会づくりの会	30,000						
江崎 隆夫	100,000	徳島 博	10,000	藤田 稔彦	5,000	強力 修	3,000
菅沼 延之	50,000	坂崎 清	10,000	鴨志田 清敏	5,000	片岡 兼行	2,000
古川 昭一	20,000	水野 正治	10,000	溝井 昇	5,000	佐藤 善喜	2,000
小甲 和巳	20,000	畑内 康孝	10,000	柴原 美満	5,000	井上 民規	2,000
大西 彰夫	20,000	金田 護	10,000	中西 哲也	5,000	毛利 純一	2,000
増島 忠弘	20,000	市橋 鋭二郎	9,000	奥村 要治	5,000	長谷川 秀文	2,000
塩野 明俊	10,000	井上 道彦	9,000	飯島 寿	4,000	江尻 潜	2,000
川口 心也	10,000	山田 猛敏	9,000	丹羽 幸彦	4,000	松浦 肇	1,000
渡辺 一雄	10,000	石川 富郎	9,000	濱地 義法	4,000	原 嘉明	1,000
山下 文徳	10,000	池上 義孝	5,000	鈴木 晴敏	4,000	杉田 正純	1,000

2018年1月

6. 2018年度の活動計画

2018年度の活動は「世界につながる海 IN 2018」と題し、以下の活動を計画しています。故郷の海を愛する会の活動開始以来10年目の活動となります。

第1回イベント 名古屋港で砕氷船と海洋博物館の見学

バスで名古屋港に移動し、砕氷船「ふじ」と海洋博物館を見学する。又、国際貿易港である名古屋港を見晴し抜群の展望室から展望する。港や船の役割や人々の暮らしとの関わりなどを勉強します。

募集人員90名+ボランティア。

場所:名古屋港 砕氷船「ふじ」、海洋博物館 時期:7月初旬

第2回イベント JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

バスで津に移動し、JMU津造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。造船所で鳥羽商船高専の練習船に乗船し、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。船上では船の設備、構造、機関等のお話・ロープワーク、等を体験する。

募集人員60名+ボランティア。(活動に際しての協力:鳥羽商船高専並びにJMU津造船所)

場所:津市及び伊勢湾。 時期:7月下旬

第3回イベント 伊勢湾フェリーに乗船し、伊勢湾海上交通センターの見学

鳥羽で伊勢湾フェリーに乗船し、操舵室を見学し、伊良湖に向かいます。伊良湖では伊勢湾海上交通センターで伊良湖水道を通航する船を管制する様子を見学し、渥美郷土資料館では昔から伊良湖水道を渡って伊勢志摩と交流があった様子を学びます。

募集人員90名+ボランティア。(活動に際しての協力:伊勢湾フェリー、伊勢湾海上交通センター)

場所:鳥羽～伊良湖 渥美半島 時期:8月下旬

第4回イベント 潮騒の神島の自然観察と伊良湖水道の見学

連絡船で鳥羽市の神島に渡り、神島を徒歩で一周する。その間に、渡りをするアサギマダラを探すなど自然観察を行い、神島灯台から世界に繋がる大型船の往来する伊良湖水道や広い太平洋を眺める。

募集人員80名+ボランティア。(活動に際しての協力:鳥羽ガイドボランティアの会)

場所:鳥羽市 神島 時期:10月中旬

第5回イベント もうすぐクリスマス、遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、模擬操船体験や大型機関の発停を体験する。他にコンピューター・ロボットなどの講演を聞き・ロボットやアプリの体験をする。

募集人員50名+ボランティア。(活動に際しての協力:鳥羽商船高専)

場所:鳥羽市 国立鳥羽商船高等専門学校校内 時期:12月下旬

年間5回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・近隣市町教育委員会(鳥羽市教育委員会・伊勢市教育委員会・志摩市教育委員会・松阪市教育委員会・津市教育委員会・玉城町教育委員会・明和町教育委員会・南伊勢町教育委員会・多気町教育委員会・度会町教育委員会)等の後援を得て参加者募集を行う。

国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会等の後援・協力を得て事業を実施していく。

助成に関しては、鳥羽商船同窓会に加え、日本中小型造船工業会、日本海事センター、日本船主協会、全日本海員組合、山縣記念財団等からの助成を期待しています。

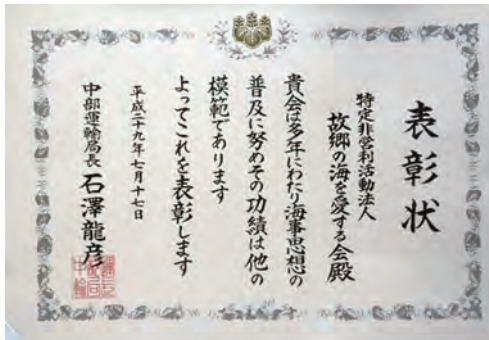
7.主催者の感想と反省など

鳥羽商船同窓会のメンバーが立ち上げた「故郷の海を愛する会」の活動も今年で9年となりました。このような活動に全くの素人が、子供たちにもっと海や船を知ってもらおうと、多くの方々の協力を得て、9年続けることが出来ました。ありがとうございました。

少しは本会の活動が知られてきたのか、昨年から多くの応募を頂き、喜んでいます。

中部運輸局長表彰を頂きました

今年の海の日、海事関係功労者表彰式典において故郷の海を愛する会が、多年にわたる海事思想普及活動の功により中部運輸局長表彰を受けました。故郷の海を愛する会の活動が9年目を迎え、会を代表して式に参列した会長はじめ会員一同ますますの励みになりました。



沢山の応募を頂きました

昨年同様に6月初めから活動その①②③について募集を開始しました。その②は一週間で、他の活動は10日で応募多数となり募集締切としました。

活動への参加者の募集を始めると早々に募集定員に達し、嬉しいことです。

2017年度活動その② 応募締切 [2017年06月07日 (Wed)]

おかげさまで2017年度の活動その②「JMU造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海」は多くの応募を頂き、募集締切とさせて頂きます。ありがとうございました。
尚、活動その①とその③についても募集中ですが、残りわずかとなっています。参加ご希望の方は応募をお急ぎください。その③の集合場所は近鉄津新町駅のみが残っています。

2017年度活動その①、②、③ 募集 終了 [2017年06月12日 (Mon)]

2017年度事業名「海から始まる物語 IN 2017」の3つのイベントの募集を行っていましたが、おかげさまで多くの応募を頂き、全て予定員数に達しましたので、募集終了させて頂きます。
NPO法人故郷の海を愛する会は子供たちにもっと海や船を知ってもらおう、親んでもらおうと活動を続けて今年で9年目となります。少しは活動が知られてきたのか、昨年から多くの応募を頂くようになりました。今年も同様に多くの応募を頂き、ありがとうございました。せっかく応募して頂いたのにお断りした方々、毎年同じような活動を行っているので、次の機会には是非とも参加してください。

参加者の内訳

当初の合計募集者数が260名の所、延べ277名が参加してくれました。実施した4つの活動で3つは募集人員を上回る参加者となりました。残りの1つについても、バス定員から96名の応募を得て締切としましたが、活動日の直前で多くの不参加者が発生し、予定員数を割り込む結果となりました。

2017年	津市	松阪市	伊勢市	志摩市	鳥羽市	明和町	玉城町	多気町	度会町	南伊勢町	その他	合計
総計	20	67	82	26	27	8	2	9	4	15	17	277
ピラ配布数	9,152	5,536	4,345	1,441	574	820	645	633	283	232	0	23,661
参加者/配布数	0.2%	1.2%	1.9%	1.8%	4.7%	1.0%	0.3%	1.4%	1.4%	6.5%		1.2%
2016年	津市	松阪市	伊勢市	志摩市	鳥羽市	明和町	玉城町	多気町	度会町	南伊勢町	その他	合計
総計	63	50	70	14	14	10	7	11	0	19	23	281
配布数	9,353	5,634	4,428	1,536	610	866	642	608	295	255	0	24,227
参加者/配布数	0.7%	0.9%	1.6%	0.9%	2.3%	1.2%	1.1%	1.8%	0.0%	7.5%		1.2%

地域別参加者数では多い順に伊勢市、松阪市、鳥羽市、志摩市、津市、その他、南伊勢町の順でした。津市は2016年度では2番目に多かったのですが、2017年度は減少しています。

対象区域外から17名の参加がありました。

募集のポスターやリーフレットは手分けして同じ日に各市町の教育委員会にお届けしていますが、子供たちの手元にリーフレットが届くのが各市・町でバラバラのようです。多くの応募があった場合、早々に締切となり、手元に届くのが遅かった子供たちは不利になってしまいます。難しいところです。津市とか松阪市のように大きい市は子供たちの手元に届くのが遅くなっているように感じます。出来るだけ同じ条件で応募できるようにしたいですね。

各市町別で対象者数に対する参加者数の割合は、南伊勢町、鳥羽市、伊勢市、志摩市の順でした。

活動の広がり

活動その④の募集は今年の活動に応募しても参加できなかった人達、今までの活動に参加したことのある人達に「招待状」を送付して参加者募集をしました。加えて、本会のブログでも募集を行いました。嬉しいことに、ブログを見て、遠くの神奈川県平塚市、京都府、名古屋市の小中学生の応募があり、驚き、喜んでいきます。

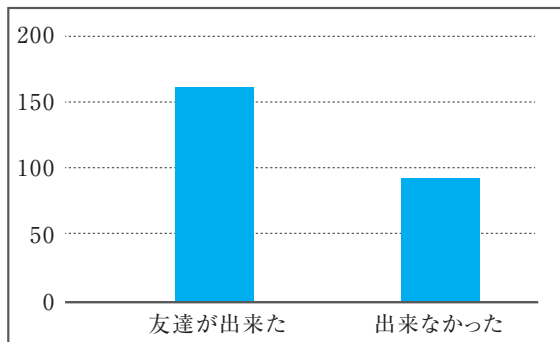
募集対象は9年前の活動開始時から少しずつ広げ、現在は三重県の津市以南の5市5町でポスター等配布して募集しています。それ以外の四日市や桑名など三重県北部からの参加者は今までにもありましたが、県外からブログを見て参加するのは初めてです。

もっと、ブログの内容の充実を図り、三重県に限らず、より広くから参加者があるようにしたいと思います。

子供同士の交流

今年の活動に参加した人たちにアンケートに記入してもらっていますが、回答してくれた255名の内、165名が新しい友達が出来たと書いています。(90名は友達が出来なかったと)

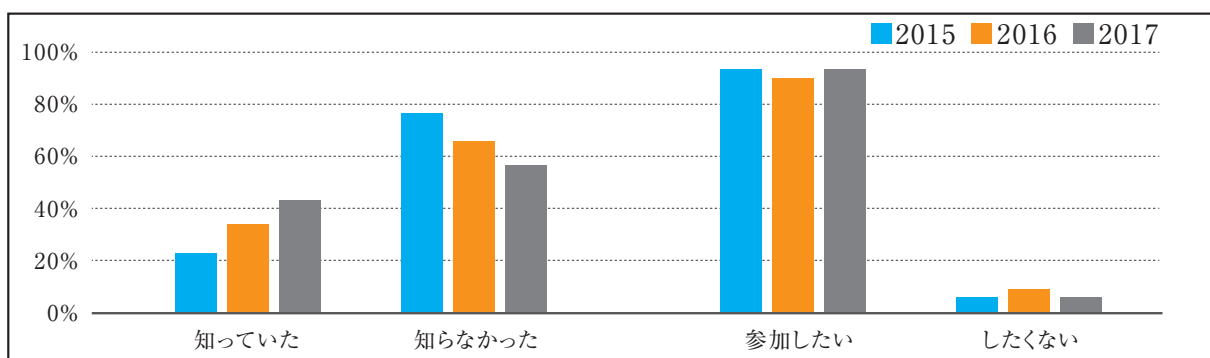
私達は活動を通じて子供たちが子供たち同士で交流し、友達になって欲しいと考えています。何度かの活動に参加して、顔見知りになり、友達になる。そのような場面を見ると嬉しくなります。毎回、お昼を過ぎると急に見知らぬ同士であった子供たちが話をはじめ、騒がしくなります。保護者の方が一緒ですと、どうしても子供と保護者が一緒の場面が多くなります。親から離れ、子供たちだけで活動するのが自立心を養う上でも好ましいと感じています。



故郷の海を愛する会の認知度

故郷の海を知っていましたか？

今後も参加したいですか？



追加の活動 キャンセル

今年度に入って日本船主協会と山縣記念財団の助成が頂けることとなりました。おかげさまで資金面に余裕が出来たので、10月に追加の活動を計画しましたが、天候不良で中止しました。

今年度の事業「海から始まる物語 IN 2017」の活動その①②③は成功裏に終了しましたが、募集の際に多くの方々に応募して頂き、その結果、沢山の方々に参加して頂けませんでしたので、今回、その方々にも案内を送付して参加して頂こうと考えました。

「潮騒の神島の自然観察と伊良湖水道」を10月14日(土)に、対象は小中学生と保護者の方80名。80名を超える応募があり、楽しみにしていたのですが、残念でした。

来年度の計画に含みました。神島を歩いて一周し、渡りをする蝶、アサギマダラ、を探します。大きな船を誘導する神島灯台や伊良湖水道を見ます。いろいろと自然の不思議と歴史を学び、楽しめます。



終りに

後援、資金・資料提供等本活動に関し、以下の団体、自治体、会社に多大なるご協力を頂きました。成功裏の活動終了はみなさんのおかげです。ありがとうございました。

- ・中部運輸局、三重県運輸支局鳥羽海事事務所
- ・三重県教育委員会
- ・日本海事センター
- ・日本中小型造船工業会
- ・JMU津造船所
- ・鳥羽商工会議所
- ・南勢海洋少年団
- ・鳥羽商船高等専門学校
- ・鳥羽商船同窓会
- ・津市、松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、多気町、明和町、度会町、玉城町、南伊勢町の各教育委員会、各小中学校
- ・日本船主協会
- ・日本内航海運組合総連合会
- ・海の博物館
- ・鳥羽市観光協会
- ・四日市海洋少年団
- ・鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部
- ・全日本海員組合
- ・山縣記念財団
- ・四日市港管理組合
- ・中部電力 電力館テラ46
- ・セイラビリティ伊勢

イベントの参加者募集や活動の報告などの情報は以下のブログで見て頂けます。

<http://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>



活動実績・収支報告・組織運営などの団体情報は以下をご覧ください。

<http://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442>



(2018年1月最終報告として作成 S.K)

ふるさと NPO法人 故郷の海を愛する会



三重県鳥羽市鳥羽三丁目31番37号
Tel 0599-25-8045 Fax 0599-25-8128
Email: umiwoaisurukai@yahoo.co.jp